

■姉妹都市交流について■

◇1989年より、市内中学生を毎年夏休み期間中に、コロラド・スプリングス市に派遣している。27回目となる今年は、2015年8月3日～8月12日の期間に、市内5中学校から17名の生徒を派遣、ホームステイなどを通して、コロラド・スプリングス市民との交流を体験します。

◇最近の交流◇

1996. 6. 13-20 コロラド・スプリングス前姉妹都市委員長ゲーリー・バーンズ氏来市。
8. 13-19 富士吉田市民合唱団総勢34名がコロラド・スプリングス市訪問。
10. 2-8 コロラド・スプリングスで開催された「日米草の根サミット」へ栗原雅智市長をはじめとする25名が参加。現地でホームステイなど様々な交流を行う。
9. 2-4 コロラド・スプリングスのコロラドシンフォニーが来市。
1997. 5. コロラド・カレッジ ユンユ・ワン教授来市。太鼓について学ぶ。
6. 9-7. 21 コロラド・カレッジ 17名が来市。ホームステイを通じ日本語・日本の文化・習慣を学ぶ。
10. 19-25 コロラド・スプリングス前市長ロバート・アイザック氏夫妻が来市。
11. コロラド・スプリングス市長マークピース氏をはじめとする総勢120名が山形県で開催された草の根サミット終了後、本市を訪れる。その訪問団の中には、チルドレンコラール約40名も含まれ、富士吉田市で演奏会を開催する。
1998. 6. コロラド・スプリングス姉妹都市委員富士吉田担当がドーン・モスロウスキー氏にかわる。
6. 10-16 コロラド・スプリングスにあるランパートハイスクールの生徒及び教諭合計10名が本市を訪れ、富士登山や市内高校訪問。ホームステイを通じ、日本の文化習慣を学ぶ。
8. コロラド・スプリングス姉妹都市委員の運営費を補助する為にネクタイ・ハンカチを送る。
10. 1-10 富士山火焰太鼓総勢40名が訪問。数回にわたる公演を行い非常に高い評価を得る。
1999. 7. 10 ポール丸山氏（コロラド・カレッジ講師）以下6名が富士吉田市訪問
11. 9-11 第9回日米草の根交流サミット静岡大会終了後、チルドレンズコラール、ユースオーケストラ及びディレクター、48名が来市。富士吉田市民合唱団主催の親善コンサート等、交流を図る。
2000. 6. 1-4 コロラドカレッジ助教授 エリクソン氏来市。富士講の歴史を学ぶ。
7. 23-26 富士吉田市市制施行50周年記念事業とし、コロラドカレッジ教授、ポール丸山氏を招待。姉妹都市の記念プレートを作成し、記念式典の際に、シャモニ・モンブラン市とともに姉妹都市友好を誓う。また「友好のつどい」として姉妹都市にゆかりのある方々約90名とともにレセプションを行う。
10. 6-8 コロラド・スプリングス市 ターマン小学校校長 リンダ・グッチ氏フルブライトによる訪問の折に来市、富士小学校を訪問、校長・生徒らと交流、富士吉田市長を表敬訪問。富士見台中学校教諭宅にホームステイ、教員と交流。
2001. 1. 23 コロラド・スプリングス姉妹都市委員富士吉田担当がマドリア・E・ミ

ルズ氏にかわる。

5. 1-9 石見谷紘氏、チルドレンズデーに招待され、子どもたちに折り紙を教える。また市内の小学校、社会学級、コロラド・カレッジなどでも折り紙を教える。

6. 1-4 コロラドカレッジ助教授エリクソン氏、生徒 6 名と、富士講の歴史研究のため、来市。富士山火焰太鼓のワークショップに参加し、交流する。

2002. 6. 11-13 コロラドカレッジ助教授エリクソン氏、教師 5 名と、コロラドカレッジに建設を予定している日本庭園の研究・視察のため、来市。

7. 11-18 姉妹都市締結 40 周年を記念し、武川勉市長以下 17 名が公式訪問。記念行事に参加。また、時期を合わせ、市民合唱グループ コール・白樺もコ市を訪問し、歌声を披露する。

10. 17-21 姉妹都市締結 40 周年を記念し、コロラド・スプリングス市からメークピース市長以下 14 名が富士吉田を公式訪問。市民宅 6 軒にホームステイをしながら、市立病院、富士小学校などを見学し、市民と交流を深める。

19 日のレセプションの際に、メークピース市長とハナウェイ姉妹都市委員会委員長に富士吉田市国際親善特別名誉市民章を贈呈。

2003. 7. 11-13 コロラドカレッジ講師ポール丸山氏、コロラドカレッジ学生 5 名と、日米交流の歴史を研究するために来日し、富士吉田を訪問、ホームステイを通じ市民と交流を深める。また、ポール丸山氏に富士吉田市国際親善特別名誉市民章を贈呈。

2004. 3. 25-26 空軍士官学校（エアフォースアカデミー）外国語学部日本語教室の授業の一環として、日本の歴史・文化・社会について体験するために 5 名の学生が富士吉田市を訪問。ホームステイを通して市民と交流する。

6. 1-2 北コロラド・スプリングスロータリークラブ会長サンディ・テーラさん外 1 名が来市。一般家庭にホームステイ。

6. 15-20 コロラド・スプリングスにあるランパートハイスクールの生徒 12 名及び教諭など 4 名が本市を訪れ、富士山・富士五湖地域見学や市内中学校訪問などを行う。彼らは一般家庭にホームステイし、交流を深める。

2005. 3. 23-25 空軍士官学校（エアフォースアカデミー）外国語学部日本語教室の授業の一環として、日本の歴史・文化・社会について体験するために 4 名の学生と 2 名の引率者が富士吉田市を訪問。ホームステイを通して市民と交流する。

2005. 10. 23-31 富士山火焰太鼓の会が「パイクスピーカー国際音楽祭」へ参加するために訪問。盲ろう学校など各所で演奏を繰り広げ、多くの市民と交流を深める。この機会に富士吉田市長と市議会副議長も公式訪問し日本大使館デンバー領事館訪問や、市議会への出席を行い、国立公園の活用などについて姉妹都市関係者らと意見交換を行う。

2006. 2. 21-23 コロラド・スプリングス姉妹都市委員会オーストラリア担当キム・ポロンカ一行が美術（壁画）を通した姉妹都市交流を提案するために来市しリベラ市長より託された親書を富士吉田市長に手渡す。

2008. 8. 3 中学生姉妹都市派遣事業が始まってから 20 年目を迎える年を記念して、コロラド・スプリングス市でパーティーが実施されました。富士吉田市

民が使用済みの牛乳パックに色塗りをし、現地へ運ばれ、コロラド・スプリングス市民協力のもと、巨大なモザイク画として約2時間半をかけて一つの絵につなぎ合わされ両市民協働のもとに完成した作品はとても立派なものとなって披露されました。牛乳パックの意味から、ミルクカートンプロジェクトと称してのこの計画は、現地参加者は約100名。子ども合唱隊「チルドレンコラール」のほか、ホストファミリーや姉妹都市関係者も参加。日本からは20周年記念行事実行委員会のメンバー有志7名と、派遣事業参加者の中学生と引率者も含めた18名が渡航。

2009.6.3 2003年7月に贈呈の富士吉田市国際親善特別名誉市民である、コロラドカレッジ教授のポール・丸山先生が夏期日本研修一環として、同カレッジの日本語コースを受講中の学生10名と共に富士吉田を訪問。日本語の勉強だけでなく、日本文化にも触れる機会となった。

2011.6 コ・ス市新市長にスティーブ・バック氏就任。

2011.8.24-29 コロラド・スプリングス市、ダイバーシティフォーラム 代表スー・ストゥーマンさん、シャーリー・マルティネスさん、ファーガタシ・マホさんの3名が「吉田の火祭り」視察のため来市。

2012.8 堀内市長をはじめ、総勢約70人が8月3日（金）から8月5日（日）にかけてコロラド・スプリングス市を訪問し、コロラド・スプリングス市の大勢の市民とともに姉妹都市締結50周年を祝いました。

8月4日（土）は、「コロラド・火祭り支援会」による、火祭りを模したイベントを開催し、富士吉田市立歴史民俗博物館職員による「お札すり」のワークショップ、また、8月5日（日）は、コロラドカレッジにおいて、公式訪問団である「富士火焰太鼓の会」による演奏会が開催されました。

10.31-11.4 姉妹都市締結50周年記念事業により、コロラド・スプリングス市からチルドレンズ・コラール合唱団「サミットアンサンブル」総勢30名が富士吉田市を訪れました。

2013.5.24-5.27 コロラドカレッジ生徒12名と教授2名来市。富士吉田市長を表敬訪問し、うどん作り体験、富士山火焰太鼓のワークショップ等に参加。

2014.6.13-6.16 ユースシンフォニーオーケストラ、ディレクター及び引率者等総勢95名来市。吉田高等学校訪問やオーケストラメンバーは一般家庭にホームステイ。また、富士山火焰太鼓等とのコラボレーションコンサートの音楽交流プログラムを実施。

2015.3.8-3.12 コロラドカレッジ生徒11名と教授2名来市。陶芸体験、富士学苑高校訪問、富士山火焰太鼓のワークショップ等に参加。

2015.6 コ・ス市新市長にジョン・サザース氏就任。